

工学系研究科交換留学報告書
チャルマース工科大学 (スウェーデン)

システム創成学専攻修士 2 年

1. チャルマース工科大学とヨーテボリ

チャルマース工科大学(Chalmers University of Technology)は、ヨーロッパ屈指の名門工科大学の一つで、特に建築と材料工学が有名です。産業界との協働に積極的で、企業との共同執筆論文数の世界ランキング CWTS Leiden Ranking では世界 5 位、ヨーロッパで 1 位です (同校ウェブサイトより)。国際化にも力を入れており、ヨーロッパを中心に多くの留学生がチャルマースで学んでいます。



同校が位置する街ヨーテボリ ([英]Gothenburg、[瑞]Göteborg) はスウェーデン第二の都市です。有名な自動車会社の本社がありますが、工業都市というよりは豊かな自然に囲まれて人々がのびやかに暮らす街という印象でした。

2. 留学前の準備

2-1. 学内選考

2022 年 1 月から半年間の留学でしたが、学内の応募締め切りは前年の 9 月末頃だったと思います。指導教員の先生からの推薦書を含めた書類を提出し、簡単な英語面接を受けました。提出書類の中には、コロナ感染症対策用のチェックリストもありました。

2-2. 奨学金

東京大学海外派遣奨学事業 短期海外留学等奨学金をいただきました。月額 8 万円で実質的な学業期間である 5 か月分が支援されました。1 月からの渡航に対して、2 月に採択され 5 か月分がまとめて振り込まれました。毎月、東大の指導教員の先生から在籍確認書類を提出してもらう必要があります。

2-3. 書類

渡航前に居住許可申請が必要です。申請の際には生活費を保証する残高証明書も提出します。英語表記、氏名の明記などいくつかチェックポイントがあり、私は何度か再提出を求められました。通常、申請から約 8 週間で認可され、自宅に居住許可書類が届きます。入国及び、現地で居住許可証を発行する際に必要になります。

2-5. 住居

住居は、SGS という現地の学生寮管理サービスから申請しました。当然ながら優良物件から契約されていくので、早めに申請しておいた方がいいです。あまり変わらない値段で、バスルーム共有だったり、リフォーム前/後だったりすることが渡航後にわかりました。



2-4. 持ち物

冬の北欧への渡航だったので、ビクビクしながら厚手の服や靴を持っていきました。おかげで鼻水は垂らしつつですが、無事春を迎えることができました。ヒートテックなどの下着もコートなどの防寒具も現地で入手可能なので、夏からの渡航であれば現地購入がいいかもしれません。コートなどはセカンドハンズショップを見てみるといいと思います。

また、冬場は日照時間が非常に短くビタミンD不足になるかもとサプリメントも持参しました。安心材料としては良かったです。

3. 渡航後の生活整備

3-1. SIM カード・Wi-fi

Comviq というスウェーデンの通信会社の SIM カードを購入しました。スイスとロンドン以外、ヨーロッパの都市ではどこでもネットが使えて安心でした。COOP や Presbyrån (コンビニ) もしくは Comviq アプリから、データプランを必要に応じて購入します。また、スマホの SIM ロック解除を日本で確認しておくことをお勧めします。

学生寮を管理する SGS のアパートメントではインターネットが提供されています。家電量販店 ELGIGANTEN などで Wi-fi ルーターを購入して使用します。基本的に無制限に使い放題で、通信環境も良好でした。

3-2. 居住許可証の発行

渡航後 2 週間以内に居住許可証を発行する必要があります。市内に移民局があるので、必ずウェブサイトですべて予約してから訪問してください。予約はかなり先までいっぱいになっていたのですが、結局発行できたのは渡航から約 1 か月半後でした。特にお咎めや困ったことはありませんでした。

3-3. 交通機関

ヨーテボリでは、トラムとバスが主な移動手段です。長距離の移動には鉄道もあります。Västtrafik というアプリでルート検索やチケット発行ができます。他に、Presbyrån (コンビニ) などでカードの定期券も入手可能です。きちんと支払うと高価なので現地

学生はタダ乗りしてましたが、見つかると高額な罰金になるのであまりお勧めしません。

この他に、レンタル自転車や電動スクーターもよく普及しています。Uber やタクシーもあるので、必要に応じてこれらの移動手段も利用できます。

4. 留学生活

4-1. 環境・生活全般

冬のヨーテボリの気温はだいたい0度くらいで、そこまで寒くはありません。海沿いの街で強風の日はありませんでしたが、大雨や大雪はほとんどなかったように思います。室内は基本的に暖房完備で二重窓もあって暖かいです。夏は日照時間が非常に長く、朝の4時から夜の22時でも明るいです。夏にしっかり睡眠を取るには遮光カーテンやアイマスクがあるといいと思います。気温は20度くらいで大変過ごしやすいです。



物価は非常に高く、外食をすると比較的安く済ませても2000円、ほんの少し美味しいお店に行くと5000円以上かかるようなイメージでした。一方で、スーパーで食材を買う分にはそこまで日本と差はないので、自炊メインでの生活をしていました。

4-2. 学業

学業でまず印象的だったのは、グループワークが多いことです。私が履修した講義はほぼ全てがグループワークを中心に進んでいきました。初回の授業でグループが形成され、その後はグループ単位での課題提出をしていきます。また、グループワークの少ない授業でも、授業中に近くの人やZoomのブレイクアウトルームなどで議論する時間が設けられていることが多かったです。

また、講義とは別で演習の時間が用意されていることが多く、TAに相談しながら課題に取り組んだり授業の疑問点解消などができます。

授業のレベルは東大とそこまで大きな違いはなかったように思いますが、企業との共同研究の話や企業研究者が担当する回があったりと、産業的・実践的なエンジニアリングに重きを置いている様子でした。

4-3. 娯楽・旅行

チャルマースでは、留学生のメンターグループ制度があり、すでに現地に慣れた留学生がメンターとしていろいろなイベントを企画してくれました。市内の観光ツアーや、各国の料理を持ち寄る夕食会、サウナツアーなど、定期的に行われるイベントを通して多くの友人と出会い仲良くなりました。

また、個人的な興味もあって、たくさんの国や都市を旅行しました。同じヨーロッパでもそれぞれに歴史や文化があり、それらを肌で感じられたことは留学中の大きな経験でした。

5. 留学を終えて

留学した半年間は、それまでの修士の2年間と同等かそれ以上に学びの多い、濃縮された時間でした。美しい自然や文化的建築を目にし、各地で温度や匂いを感じながら現地の人と交流し、国籍も宗教もセクシャリティも多様な友人と夕食を共にした記憶、その体感はこれからの人生でも消えることのない財産です。今はただ、このような時間を与えてくださり、絶えずご支援をいただいた皆さまに心から感謝しています。

これから留学を考えている方には、ぜひ一歩踏み出してみることを勧めます。皆さまが安全、健康に、有意義な時間をお過ごしになることをお祈りしています。